

外国語科目領域 教育課程の編成及び実施に関する方針

卒業の認定に関する方針		教育課程の編成及び実施に関する方針
構成要素 (コンピテンス)	能力 (コンピテンシー)	
豊かな教養・知識に基づく高い倫理観	〔DP-1〕 社会人として必要な教養と社会科学の知識を修得し、法令遵守の精神と高い倫理観に基づいて、自らの使命・役割を果たすことができる。	〔CP-1〕 外国語学修と言語文化の理解を通じ、国際人として必須の多様な価値観を許容する倫理観を養い、国際交流に貢献する力を養成する。
日本及び世界の社会システムを理解し説明する力	〔DP-2〕 日本及び世界の法、政治、行政、経済及びジャーナリズムの仕組みと、それが直面している問題を理解し、説明することができる。	〔CP-2〕 外国語学修と言語文化の理解を通じ、日本と世界の社会システムを国際的見地から多角的に捉える視点を養い、説明する力を養成する。
論理的・批判的思考力	〔DP-3〕 社会科学の基礎的知識を基に、論理的、科学的、合理的かつ批判的な考察を通じて、新たな「知」の創造に寄与することができる。	〔CP-3〕 外国語学修と言語文化の理解を通じ、国際社会について論理的・批判的に考える力を養成する。
問題発見・解決力	〔DP-4〕 社会・共同体のさまざまな営みに自ら積極的ににかかわる中で、事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。	〔CP-4〕 外国語学修と言語文化の理解を通じ、国際社会における事象を独自の視点から観察して問題を発見し、解決策を提案する力を養成する。
挑戦力	〔DP-5〕 法規範をはじめとする社会システムに関する専門的知識を基に、あきらめない気持ちをもって、より良い社会・共同体の創造に果敢に挑戦することができる。	〔CP-5〕 外国語学修と言語文化の理解を通じ、異文化に積極的かつ自主的に関わり、より良い相互理解の発展に果敢に挑戦する力を養成する。
コミュニケーション力	〔DP-6〕 多様な伝統・文化・環境に育まれた他者の気質、感性及び価値観を理解・尊重し、社会・共同体の中で積極的にコミュニケーションを実践し、自らの考えを伝えることができる。	〔CP-6〕 外国語学修と言語文化の理解を通じ、自国の言語文化を相対化する視点を養い、国際的な環境で積極的にコミュニケーションを実践し、自らの考えを発信する力を養成する。
リーダーシップ・協働力	〔DP-7〕 社会・共同体のさまざまな活動において、より良い成果を上げるために、お互いを尊重し、自らすすんで協働するとともに、リーダーとして協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。	〔CP-7〕 外国語学修と言語文化の理解を通じ、他者と積極的に協働するなかで、お互いを尊重し、リーダーとして協働者の力を引き出し、その活躍を支援する力を養成する。
省察力	〔DP-8〕 他者からの評価を謙虚に受け止め、自己の活動がより良い社会・共同体の創造に貢献することができたかを振り返ることにより、生涯にわたり、社会人としての自己を高めることができる。	〔CP-8〕 外国語学修と言語文化の理解を通じ、他者との関わりを客観的に振り返り、自己がどのように変化したかを省察し、多様な価値観を許容する国際的な視野を確立する力を養成する。

〔C P〕 カリキュラム・ポリシー：教育課程の編成及び実施に関する方針

〔D P〕 ディプロマ・ポリシー：卒業の認定に関する方針